MURATA Network News
NEWSWAVE
新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第512号　平成28年4月12日（火）

発　行
村田健二税理士事務所
〒720-0825
広島県福山市沖野上5-29-27　大黒ビル2F
TEL(084)959-3605 FAX(084)959-3606

国税もクレジットカード納税がスタート インターネット利用のカード決済の納付

地方税ですでに実施されているクレジットカード納付制度が国税にも導入される。納付手段の多様化を図る観点から、これまでの納付方法に加え、「インターネットを利用したクレジットカード決済による納付」が加わることになった。適用は2017年１月４日以後に国税の納付を委託する場合から。

これは、2016年度税制改正で創設されたもの。納付書で納付できる国税を対象としており、基本的に税目に制限はない。クレジットカード納税は、パソコンやスマホでインターネットに接続し、専用サイト上でカード決済ができる仕組み。納税者がカード会社に納付手続きを委託し、カード会社がそれを受託した日に国税の納付があったものとみなして、延滞税や利子税等に関する規定が適用される。クレジットカードで税金を納めるメリットは少なくない。筆頭に挙げられるのが「時間が稼げる」こと。引き落としのタイミングが納期限より遅くなるため、資金繰りへの好影響が期待できる。インターネットを利用することで現金を持ち歩かなくていいという安心感もしかり。またクレジットカードを利用することでポイントが貯まるという旨味もある。デメリットは、手数料が利用者（納税者）の負担となること。現行の地方税の取扱いと同じになるというが、東京都の場合、納税額１万円以下で78円、２万円以下で157円かかる。このほか、インターネット利用による情報の漏えいリスクも見逃せない。いずれにせよ自己責任になるため慎重な検討が必要だ。

ライフデザイン白書は時代を映す鏡 少子高齢化・介護時代の家族像とは

東日本大震災から５年が過ぎた。日本の経済状況も政権も変わった。大学のライフデザイン学部新設増もこの５年。日本は「少子高齢化時代」に突入、その潮目の変わり目に翻弄されている。タイミングよく昨年、５年ぶりに『ライフデザイン白書 2015年』が発刊された。これは（株）第一生命保険研究所が 20 年間続刊しているライフデザインレポートの老舗。これまで生活者の意識と行動の変化を捉え続けて発刊 20 年目にしてインターネット調査に切り替えた。

大学の学生、地域住民の自治会やNPOも参考書にする同書の魅力は、編集・構成の充実だろう。ライフデザインを形成する６つの領域―家族、地域、消費、就労、健康・介護、人生設計といった、人々が生活していくための基本的な分野を網羅した。調査対象は全国の満 18～69 歳の男女個人で有効回答数 7,256 人だった。

就労について―職業能力に焦点を当て正社員対象で調査。「女性はキャリアアップに消極的」という結果が出た。すでに内閣府の有識者会議でも指摘されていて、先進国の中で日本女性は管理職への道に関心が薄いとされている。介護離職について―白書はいち早く「男性介護」のデータに着目し、結論は「不本意な働き方を減らさなければならない」としている。そのために人生設計が道半ばでとん挫しかねない。次は2020年のポスト・オリパラの変化だ。